

初瀬水路発電所が運用開始しました

～関西支社管内で第1号となる「小水力発電の推進」の取り組み～

独立行政法人水資源機構では、国土交通省基本方針に基づく新たな取り組みの一環として「低炭素・循環型システムの構築－小水力発電の推進」に積極的に取り組んでいます。

室生ダムでは、水道用水を室生湖から初瀬水路により奈良県桜井浄水場に導水しています。この水を利用した最大出力150KWの水力発電所が平成26年2月18日から運用開始することになりました。

関西支社管内での「小水力発電の推進」の第1号となる水力発電所であり、また、取水口の地下30mのトンネル内にある放水管を有効活用して発電を行うのは、全国的にも珍しいものです。

発電した電気は初瀬水路施設の管理にも使用しますが、管理費軽減のため余剰電力は売電し、一般家庭に供給することになり、関西地方の電力不足に対して一助になることが期待されています。

※初瀬水路発電所は、経済産業省の「再生可能エネルギー発電設備」の認定を受けており、計画電力量では約300世帯を超える家庭の年間消費量に相当します。



平成26年2月19日

独立行政法人 水資源機構 木津川ダム総合管理所

発表記者クラブ

奈良県政記者クラブ

桜井市政記者クラブ

問い合わせ先

独立行政法人 木津川ダム総合管理所

室生ダム管理所 所長代理 武澤

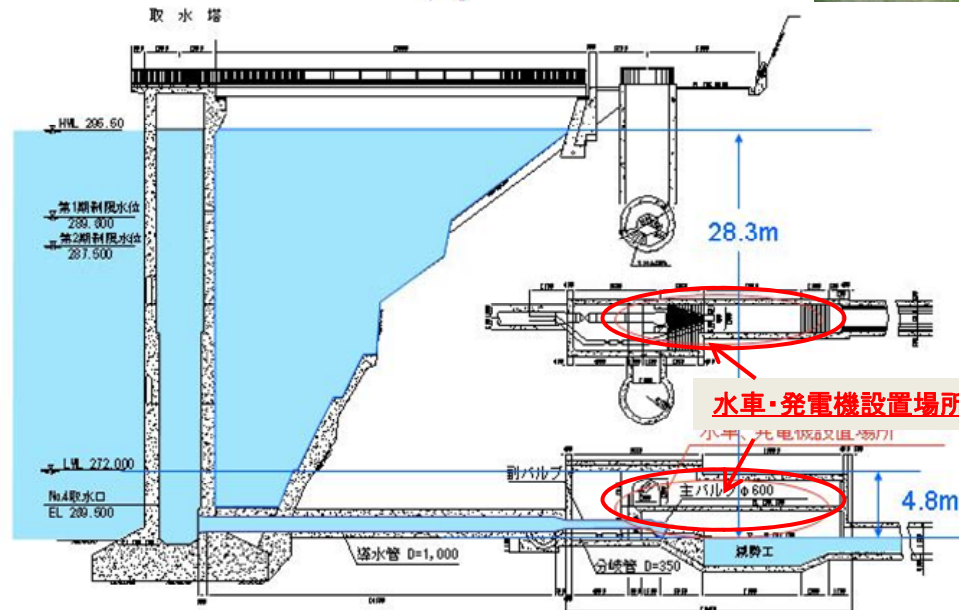
住所：奈良県宇陀市室生大野3846

電話：0745(92)2320(代表)

初瀬水路 概要

初瀬水路施設は、室生ダム貯水池内の上流左岸に位置し、取水した水は、奈良県桜井市にある浄水場で処理され奈良県の水道水として配水されている。

- ・奈良県の16市町村の水道用水を供給
- ・取水量 4月16日～10月15日:最大1.6m³/s
10月16日～4月15日:最大1.2m³/s
- ・トンネル長 約5500m,内径1.8m(馬蹄形)



初瀬水路発電所

場所: 奈良県宇陀市榛原山辺三地内 初瀬水路施設

設備概要	
発電所名	初瀬水路発電所
最大出力	150Kw
最大使用水量	0.8m ³ /S
有効落差	26.41m
水車	フロントルフランシス水車
発電機	三相誘導発電機

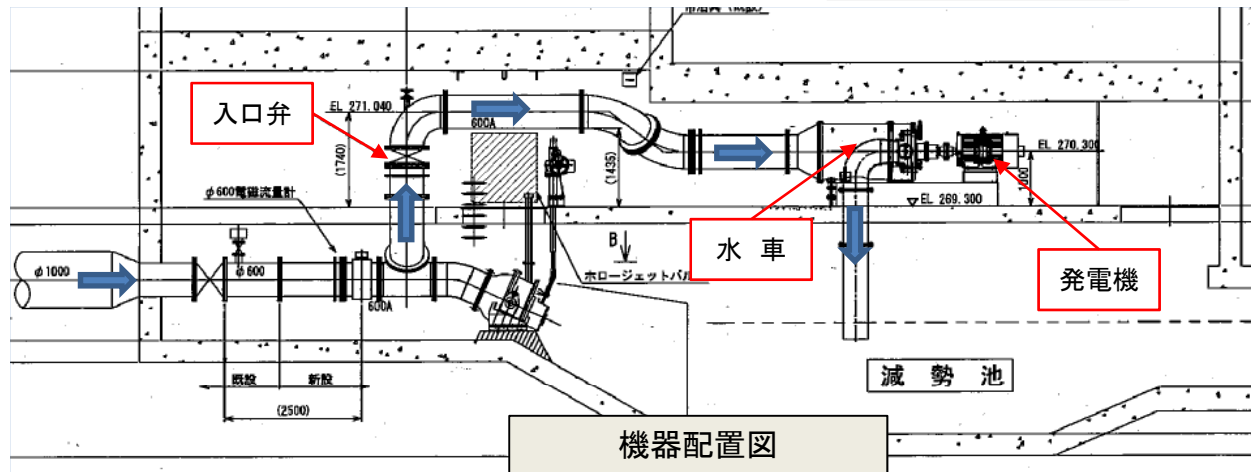
※ 再生可能エネルギー認定(H25.6.20)
 発電開始日 平成26年2月18日(関西電力(株))



水車 発電機



分岐管_入口弁



機器配置図



高圧受電盤 発電機制御盤